

ごみ分別説明会 記録

【日 時】平成29年10月19日（木）午後7時00分から午後8時15分

【会 場】富良野市役所 大会議室

【対象地域】弥生町・若松町

【出席者】33人

意見・要望などの要旨	回答の要旨
<ul style="list-style-type: none">・資源回収ステーションを管理する中で、アパート入居者などごみ分別がよくないごみが多く困っている。アパート管理人や大家に対してどのように周知啓発を図っていくのか。今回のようなものを利用してはどうか。・汚れの程度はどの程度なのか。・すすいだあとのプラスチック類は乾燥させなければいけないのか。・プラスチックでできているものは石油製品なので、全てプラスチック類でいいのではないか。・リサイクルセンターはすべて受け入れているのか。	<ul style="list-style-type: none">・説明会の案内をアパート市内 3,000 戸に配布しました。今後は、今回使用したものを利用検討し、働きかけていきたいと考えます。この説明会をスタートとして進めていきたいと思います。・水洗い等さっと洗う程度で問題ありません。着色汚れはそのまま問題ありません。一番大事なのは「中身を使い切ること」になります。・水洗い後、水を切っただけであれば水滴が付いていても問題ありません。・平成 13 年当時はプラスチックでできているものは全てプラスチック類として排出していただいていた。その後、いろいろなものがプラスチックでだされるようになってしまい、資源化できないものもたくさんできるようになりました。平成 19 年度に分別区分を変更して容器や包装に限定をしました。その後、汚れの程度などで固形燃料ごみに入ることが多くなってしまったので、再度皆様に分別について説明をさせていただきたいというお願いになります。・直接搬入は、ステーションに出すごみで生ごみは衛生センターになり、それ以外はリサイクルセンターになります。

- 固形燃料ごみにプラマークが入っていたら警告シールが貼られるのか。
- プラスチック類の処理についてどのようにしているのか。
- 広報で「固形燃料ごみにプラマークがついているものは入れることができません」となっていたが、今後警告シールが貼られるのか。
- 資源回収ステーションの設置基準はあるのか。
- 納豆のからしなど洗にくいものはどうしたらいいのか。
- びんの蓋などプラスチックでできているが、取れないものはどうしたらいいのか。
- 枝草類は透明袋で出すことになったが、半透明は絶対だめか。
- 地域で公園を管理して、落ち葉や草刈りなどを行っている。その際の袋はいただけないのか。

- まずは、分別を知っていただくことだと考えています。段階的に警告シールの貼り付けも検討することになるかもしれませんが、まずは知っていただいでから状況を確認していきたいと思います。
- プラスチック類は沿線で集めて、中富良野町で選別・圧縮を行います。その後、当麻町の再生センターに運ばれ破砕などの処理を行い、プラスチック類の材料として再生されます。
- 現状を確認しながら、わかりにくいところを説明し、ある程度浸透してから警告シールを貼る可能性もありますが、まずは分別を知っていただくこととなります。
- 資源回収ステーションは町内会に設置していただき、場所も決めていただいています。宅地造成や戸数変更などで新設や増設が必要になった場合は町内会より補助金もあるので申請をしていただいています。
- 残ることはあるかと思いますが、使い切っていただければ洗わなくてもプラスチック類で排出してください。
- 取れないものはそのまま出していただいで大丈夫です。
- 中身が見えるものとして透明に統一させていただきました。半透明だと基準がまちまちになり、中身が確認できなくなるので透明袋でお願いします。
- 地域の清掃活動などは袋の提供ができますので、窓口にお越しください。

• ごみの減量のため、過剰包装などを市として取り組みはできないのか。

• ペットボトルのラベルがまだ付いたままでも収集されている。

• ペットボトルを切ったり潰したりしてもいいのか。

• プラスチック類やペットボトルは、リサイクル費用をメーカーなどが負担しています。その影響で軽量化をすすめているので、以前に比べるとだいぶ改良されてきている。市町村からも提案するタイミングで過剰包装なども伝えていきたいと思います。

• はがしてもらうことをお願いしてすぐに8割がはがしていただけました。あとの2割を進めていきたいと思います。

• 切ったものは固形燃料ごみになります。潰しすぎてしまうとその後の処理で圧縮できなくなるので、ほどほどにしていきたいと思います。